

100万円の使い道を 加納小児童考える

岐阜信金金融授業

岐阜信用金庫は、岐阜市加納西丸町の加納小学校で、金融リテラシーの向上を目的とした教育プログラム「ぎふしんマネーエデュ」を開き、5年生約60人がお金の大切さや上手な使い方を考えた『写真』。

同金庫加納支店の職員2人が講師を務め、児童は模擬紙幣でお金の数え方を体験。「100万円あったら、どうする？」をテーマに、お金の使い道を考えたり、計画的なお金の使い方を教えてもらったりした。

職員からの「収入の中で貯蓄と消費のバランスを考えて」「正しい知識を身に付けて、金融犯罪に巻き込まれないように気を付けて」といったアドバイスに児童は熱心に耳を傾けていた。

(玉田健太)

